

決議事項

1. 2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）事業報告並びに決算（計算書類）承認の件

1) 2024（令和6）年度東京都助産師会定時社員総会 報告

日時：2024（令和6）年6月22日（土）13：00～14：47

場所：公益財団法人 東京都助産師会館 5階講堂

社員総数：1152名

出席社員：652名（委任状含む）

定款第18条2項に基づき出席社員の中から、議長、橋本初江氏、副議長、相沢澄子氏、板橋知子氏が選出された。議長より、出席正会員（社員）および委任状数を報告し、正会員数の2分の1の出席をみたので議案の議決に必要な定足数を充足していることが告げられ、議案の審議に入った。

<監査報告>

監事の山本総より、本日の定時社員総会に提出されたすべての議案および書類を調査し、いずれも法令および定款に適合しており、不当な事項はないと認めたことが報告された。

<決議事項>

- 第1号議案 2023年度事業について代表理事の宗尚子、2023年度決算について財務理事の比嘉美貴より資料に基づいて説明されたあと原案どおり可決された。
- 第2号議案 理事13名選任の件
役員選任管理委員会委員長の江坂まや氏より、現理事13名が任期満了、新たな理事13名の選任について説明があり、1名ずつ紹介した。各理事候補が自己紹介と抱負を語った。その後、議長が定款19条3項に基づき理事候補1名ずつ採決を行い、13名全員が承認された。
- 第3号議案 監事2名選任の件
役員選任管理委員会委員長の江坂まや氏より、現監事2名が任期満了、新たな監事2名の選任について説明があり、1名ずつ紹介した。各監事候補が自己紹介と抱負を語った。その後、議長が定款19条3項に基づき監事候補1名ずつ採決を行い、2名全員が承認された。

2) 2024年度事業報告

(1) 理事会・運営会議

- 理事会、運営会議は、第4回を対面、それ以外はオンラインにて開催した。
- 昨年度に引き続き東京都委託事業として「オンライン助産師相談」が実施された。
- 2024年度「助産所と嘱託医療機関等との連携支援事業」が実施された。
- 昨年度に続き、東京都福祉保健財団助成金事業「パパ向け伴走型支援」が実施された。

開催日	内容
第1回理事会 2024年6月17日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 <審議事項> 1.担当理事決め 2.2024年度組織名簿、部会、委員会、新委員承認 3.後援依頼(跡見学園大学) 4.いいお産の日イベントについて 5.事務員の処遇について
第2回理事会 2024年7月13日	<報告事項> 1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告 4.東京都委託事業オンライン助産師相談 5.南北関東地区研修会について 6.2024年度東京都委託助産教育指導講習会プログラム 7.助成金事業（パパ向け伴走型支援） 8.要保護児対策代表者会議の委員について <審議事項> 1.2025年要望書 2.2025年度日本助産師会総会代議員・予備代議員選定 3.事務職員の処遇に関して 4.各新委員の承認

第3回 理事会 2024年9月7日	<p><報告事項></p> <p>1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告</p> <p>4.東京都委託事業オンライン助産師相談 5. 2024年度東京都委託助産教育指導講習会</p> <p>6. 助成金事業（パパ向け伴走型支援）7.いいお産の日のイベントに関して 8.南関東ブロック講習会、日助の来年度の総選挙について 9.分娩取扱施設における出産に係る費用構造の把握のための調査研究 10.妊婦健診受診票助産所直接使用開始について</p> <p><審議事項></p> <p>1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2.いのちのエデュケーター養成に関して</p>
第4回理事会 2024年10月27日	<p><報告事項></p> <p>1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告</p> <p>4.東京都委託事業オンライン助産師相談 5.助成金事業（パパ向け伴走型支援）6.いいお産の日イベント</p> <p><審議事項></p> <p>1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2.日本助産師会理事改選候補者について 3.その他大規模イベント対応</p>
第1回運営会議 2024年12月14日	<p><審議事項></p> <p>1.専門部会・委員会の2025年度活動計画</p>
第5回理事会 2024年12月14日	<p><報告事項></p> <p>1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告</p> <p>4.東京都委託事業オンライン助産師相談 5.助成金事業（パパ向け伴走型支援）6. 分娩取り扱い施設における出産に関わる費用構造の把握のための調査研究 7. 拘置所の母子サポート 8.会計事務所より会計システムの更新について</p> <p><審議事項></p> <p>1.会員・賛助会員の承認 2.2025年度部会委員会事業計画・予算案 3.後援依頼 4. 外部理事1名、監事1名が必要</p>
第2回運営会議 2025年1月18日	<p><報告事項></p> <p>1.専門部会・委員会の2024年度活動報告</p>
第6回理事会 2025年1月18日	<p><報告事項></p> <p>1.会長・副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告</p> <p>4.東京都委託事業オンライン助産師相談 5. 助成金事業（パパ向け伴走型支援）6. SNS対応の報告 7. 東京都麻酔分娩補助について</p> <p><審議事項></p> <p>1.会員・賛助会員の承認 2.2024年度委員会事業報告 3.次年度事業計画 4.次期総会の日程 5.中野区の妊婦全員面接のスタッフについて</p>
第7回理事会 2024年3月22日	<p><報告事項></p> <p>1.会長・副会長報告 2.専門部会委員会報告 3.事務報告</p> <p>4.「東京都小池都知事への声明文」 5.東京都委託事業オンライン助産師相談</p> <p>6 助成金事業（パパ向け伴走型支援）</p> <p><審議事項></p> <p>1.会員・賛助会員の承認 2.2025年度予算(案)について 3.2025年東京都オンライン助産師相談委託承認 4.産後ケア推進特別委員会、委員長の辞退承認、新体制は継続審議</p>
第8理事会 2024年5月14日	<p><報告事項></p> <p>1.会長、副会長報告 2.専門部会・委員会報告 3.事務報告</p> <p><審議事項></p> <p>1.会員・賛助会員・賛助法人の承認 2. 2024年決算案について 3.総会議案</p> <p>4. 医療安全管理室斎藤委員の承認、産後ケア推進特別委員会の新委員の承認</p> <p>5.後援依頼 日本母乳の会</p>

(2) 地区分会長会議

担当理事：飯野慶子 戸塚麻美 清水幹子 (すべて WEB 開催)

開催日	内 容
第 1 回 2024 年 7 月 13 日	理事会報告・ 意見交換 ・地区分会活動について
第 2 回 2024 年 9 月 9 日	理事会報告 意見交換 ・要望書を提出した地区分会からの報告
第 3 回 2024 年 12 月 16 日	理事会報告 意見交換 ・プレパパ講座／パパ向けデイケア、助産所マップ ・次年度予算案作成
第 4 回 2025 年 1 月 18 日	理事会報告 意見交換 ・役員の人選について
第 5 回 2025 年 3 月 22 日	理事会報告 意見交換 ・次年度の自治体との委託事業の交渉について

(3) 専門部会事業報告

【助産所部会】

担当理事：吉濱淳子 委員長：野口としの 副委員長：齋藤吏香 委員：筏井沙織 吉田樹里 松井絢子
委員会：6回開催

目標：①助産所の業務が遂行できるように支援していく。

②実践で使える助産技術の習得のための研修をおこなう。

活動：①業希望の助産師の現状の把握 相談窓口開設

連携医療機関の現状把握

連携医療機関への搬送の手順の周知

委員による対面での安全管理評価

助産所集会を開催し(2回)情報交換をする

各医療連携会議への参加、医療連携に関する書類の作成及び連携助産所の確認

②東京都委託助産師教育指導講習会(1回)安全管理研修会(1回)

講習会

11月2日 新生児医療の最新知見 日本大学医学部小児科主任教授 森岡一朗先生

助産所部会集会 年2回開催

9月6日 委員の紹介・安全管理報告・妊婦健診公費負担件について・今期の安全評価について等

2月15日 今期安全評価について、活動報告、モニター及び報告の事例検討会等

○安全管理評価 10～11月 委員担当 (対面と ZOOM 対応)

○各種医療連携会議へ参加と情報交換・ハンズの会・葛飾日赤連携会議 *日赤医療センター連携会議・周産期搬送体制検証部会(東京都主催)・周産期医療協議会・多摩地域周産期連携会議・区東北部地域周産期連携会議・医療情報に関する理解促進委員会(G-MIS)

○医療連携に関する書類作成および連携助産所の確認 都立小児総合医療センター 公立昭和病院 都立大塚病院 国立国際医療研究センター

○助産所部会委員会の在り方に関する検討

助産所開設者、開業助産所に勤務する助産師が少なく委員が固定化しており、委員の役割や選出方法について検討する。

【施設勤務部会】

担当理事：相沢澄子 委員長：宮城紗弥子

委員：戸塚麻美 岩田敦子 三島典子 高橋有希

委員会：3回開催

目標：①東京都助産師会の会員数を増やすことができる

②施設勤務部会の会員が魅力を感じる東京都助産師会とすることができる

活動：①11月6日 荒田尚子先生「インターコンセプションケア」オンライン形式 73名参加

評価：①委託講習会を2回開催した結果、オンライン形式でのインターコンセプションケア、対面式の乳房ケアは、出席者の満足度は高かった。しかし、東京都助産師会の会員数を増やすまでにはいたらなかった。若者世代は、SNSを使って自分の考え方を配信できる時代である。どちらかと言えば組織に縛られることに対して抵抗を示す傾向にもある。そのため、自ら起業する助産師など新しい形の働き方をしている。助産師会は、ベテラン助産師の集まりという考え方も浸透しているようである。助産師会全体での次年度の課題として具体的な方策を検討していきたい。

②施設勤務部会に所属している助産師は地区分会での活動に参加していない、勤務しているため難しいという現状がある。研修会に対しては病院内の研修で完結している傾向にあり、東京都助産師会主催の研修への参加が積極的とは言えない。以上のことから現会員の現状(勤務先・業務内容等)、助産師会に対する意見や期待する事等を調査し助産師会へのニーズを把握して、今後の助産師会の活動に反映していきたい。

【保健指導部会】

担当理事：大坪三保子 委員長：牧野好恵

委員：伊藤敦美 井澤郷子 古川純子 秋山仁恵 板橋知子 武田雅子 中理恵

委員会：4回開催

目標：①部会員の保健指導に関する知識を深め、技術向上を図る

②部会員の職務上必要な自己評価の機会の定着

③部会員の活動状況を把握

④部会員のニーズに応じた活動の推進

⑤部会員の増員（委員会メンバーの増員）にむけての活動

⑥部会員が安全に業務を遂行できるようサポート

活動評価:

① 部会員の保健指導に関する知識を深め技術向上を図る

東京都委託助産師教育指導講習会4講座の企画運営。講習会のアンケート結果では受講者の満足度は高く、これまでの疑問点が解決された、講義内容が具体的であり、最新の知識も取得できた、これからの母子ケアに活かせるとても貴重な内容で実践につなげたい、職場でも共有し役立てたいという感想が寄せられた。

② 部会員の職務上必要な自己評価の機会の定着

日本助産師会の業務安全管理評価について会員への提出依頼、および集計に協力した。会員自身の業務や活動を安全管理の視点で振り返り、安全に助産師業務が遂行できるよう、安全管理評価表の活用に向け、周知方法及び必要性和協力の呼びかけについて検討した。個人情報を取り扱うことから、東京都助産師会事務局で集計作業をする必要もあり委員の負担についても検討の必要がある。

③ 部会員の活動状況の把握し、連携を図る

今年度は日本助産師会の活動状況調査がなかったこともあり、会員全体への活動状況調査は実施していない。12月保健指導部会主催の安全管理対策講座で活動状況についてアンケート実施している。保健指導部会会員は個人で活動している人も多く、地区分会長経由の案内では各種調査の周知が困難な状況もあり課題となっている。

中日アド企画、まなび掲載記事の監修依頼、オンラインセミナー講師依頼に対応した。

④部会員のニーズに応じた活動の推進

講習会のアンケートから得られる要望を元に次年度の講習会に反映させていく。

⑤委員会活動の活性化を図る

委員会活動の活性化を図るため、部会員増員に向け、会員アンケートのニーズにあがっていた交流会を兼ねた講座を対面での委託講習会に合わせて、ランチョンセミナーを企画実施した。グループワークを通して活動状況を共有し交流の機会を持つことができた。会員、非会員にも当部会の活動についての周知にもつながった。

サンバ通信や委員会活動の中で委員会メンバーの募集を働きかけた。

⑥部会員が安全に業務を遂行できるようサポート

12月保健指導部会主催の安全管理対策講座開催。参加者12名。

安全な助産師活動をするために・・・まずは語り合うことから〈インシデント・アクシデント報告の必要性〉委託講習会後に設定、軽食をとりながら講座グループワークで意見交換、事例検討の中でインシデントアクシデント報告書を実際に記入。日ごろの活動や疑問の共有、意見交換ができ安全な助産活動について考えるきっかけとなる有意義な会となった。意識づけにもつながることから、年1回の開催を検討していく。

【総務総括委員会】

担当理事：赤山美智代 岩田敦子 小山内泰代 委員長：村田淳子

委員：石村あさ子 板橋知子 北目利子 山本弥生

委員会：5回開催

目標：①会員の各表彰の推薦がスムーズに行われるようにサポートする。

②会員にも幅広く広報するために、地区分会長会議を活用し、候補者を募る。

③総会がスムーズに行われるようにサポートする。

評価：①総会令和6年6月22日開催。当日の出席者委任状も含め652名

式典は無し。活発な意見交換があり、特にトラブルなく終了

2024年度表彰受賞者(敬称略)

②日本助産師会会長表彰 安藤敏子 清水恵代 長谷川由紀己

・日本助産師会永年活動感謝状 岡本喜代子 加園茂子 斉藤益子 佐々木和子

・産科医療功労者厚生労働大臣表彰(令和6年9月) 宗尚子

・東京都功労賞 (令和6年10月) 名嘉真あけみ

・医療功労者賞 (令和7年2月) 板橋知子

【広報委員会】

担当理事：飯野慶子 委員長：西川直子

委員：伊藤敦美 高橋一紗 渡辺愛

委員会：5回開催

目標：本会の活動の情報等を会員、母子とその家族、社会に幅広く発信する

賛助個人会員の獲得

会員同士の交流の場を作る

評価：Tokyo サンバ通信は、年2回(10月、3月)の発行

Web配信とし、すべてのページがA4判ヘッダーデザインを変更した。

メルマガは、毎月10日配信。サンバ通信配信月や、至急の報告がある際は臨時便を配信した。

賛助個人会員向けの講座は、各地区分会で企画・運営を行い、広報は講座の周知を担うこととした。

2024年度、賛助個人向け講座は、行われなかった。

SNSの活用 Facebook(フォロワー1355)、X(フォロワー323)、Instagram(フォロワー1025)にて情報発信している。依頼があれば、配信している。

座談会の開催

2024年10月14日 テーマ：「災害」 15名参加

2025年2月14日 テーマ：「産後ケア」 43名参加

【政策提言委員会】

担当理事：赤山美智代 委員長：青柳三代子

委員：鈴木享子 小山内泰代 代表理事 専務理事 常務理事

目標：要望書の作成 東京都保健医療局医療政策部・教育庁への交渉 要望書陳情活動 各地区分会の要望活動の推進 勉強会の開催

評価：東京都助産師会の令和7年度の政策要望書を作成し、計画通りに東京都各政党に要望書提出した。

各地区分会からの要望を聞き作成する要望書に反映し内容を深めることができた。各関係機関への要望や勉強会など委員会活動はほぼ実施できた。要望事項の作成も委員の活動分野を考慮して役割分担し、委員会全体で行う事ができた。本務などの理由で、実際の要望書手交時の参加者が少なかったが、来年度以降は委員以外の理事にも参加いただけるよう早めに声かけしていく必要がある。勉強会「効果的な要望書の作り方」を実施し55名の参加があった。

要望事項

- 1.すべての出産を経験する女性が、産前産後のケア・支援サービスを利用できるよう支援されたい。また、地域で母子を支援する助産師の参画が推進されるよう区市町村に周知を図られたい。
- 2.助産所における安全で安心な分娩を支援されたい。
- 3.安心して妊娠・出産・子育てができる社会を実現するために、地域や施設で活動する助産師の能力の向上にむけた取り組み推進されたい。
- 4.NICU 等入院児の在宅療養への円満な移行及び退院後の安定した生活の継続のために、母親への支援において、地域の助産師の活動を推進されたい。
- 5.妊婦向け助産師オンライン相談の予算を令和7年度以降も継続されたい。
- 6.中学校・高校における助産師による包括的性教育の実施を推進していただきたい。

日時	要望先	参加者	備考
7月12日	東京都保健医療局医療政策部医療人材課	3	
8月14日	東京都保健医療局医療政策部医療人材課	5	
8月29日	東京都議会都民ファースト	4	
8月29日	東京都議会立憲民主党	4	
8月29日	東京都議会公明党	4	
8月29日	東京都議会自民党	4	
11月1日	自民党本部	3	国家予算要望
12月4日	東京都知事 小池百合子氏	5	

【教育委員会】

担当理事：戸塚麻美 委員長：桑原さやか

委員：池田真弓 石川祐香 井野川渚 梅村泉美 宮城紗弥子 北川真貴 三木佳代子 澤田あさみ

委員会：5回開催

目標：①東京都委託助産師教育指導講習会の計画と運営

②NCPRの物品管理

③委員会開催 5回開催

評価：

① 東京都委託助産師教育指導講習会の計画と運営→計画通り実施した。

- ・対面開催 8 講座（9 月 4 講座、11 月 2 講座、12 月 2 講座）、オンライン講座 10 講座、合計 18 講座を計画通りに開催した。2 月に 6 講座（うち対面 2 講座）を開催する。
- ・オンライン講座は、zoom ミーティングを活用し、グループワークなども効果的に実施できた。
- ・講座によって受講者数の差が大きく、参加の呼びかけに苦渋した。
（テーマの示し方が影響。例：産科スタッフのための優しい日本語講座）
- ・土日開催講座では参加者へのタイムリーな対応が困難であった。
（次年度は、可能な限り平日開催をお願いしたい）
- ・動画が共有できない、音声が出ない、アンケートのスライドが表示できない等のトラブルはあったが、委員で連携を取り対応できた。
- ・アンケートの回収率にはばらつきがあるものの、結果は概ね良好（大変満足、大変役に立つ）であった。講義の後半にグループワークをすると途中退室者が出ることから、アンケートは途中休憩時にもスライド表示したことで、回収率が上がった。
- ・資料の配布を希望する意見があったため、今後は講師依頼する際に配布資料の作成も依頼していく必要があると考える。

② NCPR の物品管理→計画通り実施した。

- ・リストに基づき、物品の整理を行った。
- ・2023 年度に貸出規定を作成し、貸出実績は 2023 年度 4 件、2024 年度 2 件であった。（2025 年度も 1 件貸し出し予定あり）
- ・同日に 2 講座開催の場合、実際の貸し出し物品の件数に応じて借用書と支払いをしていただくことが決定した。（例：午前 B コース、午後 S コース）
今後、申請書を一部加筆修正していく。

③委員会開催（年 5 回）→計画通り実施した。

- ・5 月 31 日、8 月 23 日、11 月 29 日、1 月 10 日に zoom にて開催した。
2 月 28 日（金）に 5 回目を開催する。

令和6年度 東京都委託助産師教育指導講習会 プログラム

	開催日	会場	開催時間	講座テーマ	講師(敬称略)	申込 受付日
第1回 保健指導に役立てよう	9/4(水)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	外科医から見た乳腺炎の診断と治療	練馬駅前内視鏡・乳腺クリニック 院長 佐貴 潤一	8/1 (木)
	9/16 (月・祝)	東京都 助産師会館	9:30 ~ 12:30	今、求められている母乳育児支援 ～その根拠と支援者の役割～	坂出市立病院 産婦人科部長 IBCLC 戸田 千	
	9/18 (水)	ZOOM	9:00 ~ 12:00	父親の産後うつ	国立成育医療研究センター研究所 政策科学研究部長 竹原 健二	
	9/20 (金)	東京都 助産師会館	13:30 ~ 16:30	抱っことおんぶ	抱っことおんぶの研究所 理事長 園田 正世	
	9/21 (土)	東京都 助産師会館	13:30 ~ 16:30	育児支援クラスに生かす乳幼児防災 ～知識と技術の習得を目指して～	抱っことおんぶ研究所 理事長 園田 正世	
	9/30 (月)	東京都 助産師会館	13:30 ~ 16:30	赤ちゃんをかわいと思えないとき ～子育て困難のメカニズム～	東京学芸大学 名誉教授 大河原 美以	
第2回 最新の周産期知見	11/2 (土)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	新生児医療の最新知見	日本大学医学部小児科学会系小児科学分野 主任教授 森岡 一朗	10/1 (火)
	11/6 (水)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	プレコンセプションケアと助産師の役割	国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 母性内科 診療部長 荒田 尚子	
	11/10 (日)	東京都 助産師会館	13:30 ~ 16:30	乳房ケア	宮下助産院 院長 宮下 美代子	
	11/17 (日)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	女性に関わる我々助産師が知っておくべき、フェミニズム入門編	東京大学大学院総合文化研究科 教授 清水 晶子	
	11/20 (水)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	出産費用の保険適応化 ～各国の出産状況から考える～	奈良女子大学 教授 松岡 悦子	
	11/25 (月)	東京都 助産師会館	13:30 ~ 16:30	助産師の手	つむぎ助産所 院長 渡辺 愛 映像作家 吉田 夕日	
第3回 専門的自立能力	12/4 (水)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	思春期から更年期まで 女性に寄り添うビルやプロゲステロン製剤の活用	みやぎレディースクリニック 院長 宮岸 玲子	11/1 (金)
	12/7 (土)	東京都 助産師会館	9:30 ~ 12:30	恥骨痛・腱鞘炎に注意!! ～姿勢と身体の使い方からみる『骨盤健診』の重要性～	鍼灸整骨院サステーナ 院長 國古 裕史	
	12/9 (月)	ZOOM	9:00 ~ 12:00	赤ちゃんの頭のかたち	0歳からの頭のかたちクリニック 顧問医師 草川 功	
	12/14 (土)	東京都 助産師会館	13:30 ~ 16:30	産科スタッフのためのやさしい日本語講座	一般社団法人多文化共生コスモ越谷 代表理事 奥村 裕子	
	12/15 (日)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	助産師が知っておきたい 乳幼児の健やかな成長と発達	かるがも藤沢クリニック 院長 小児科医 江田 明日香	
	12/20 (金)	ZOOM	13:30 ~ 16:30	HDM,GDMの最新知見	都立墨東病院 産婦人科医 部長 兵藤 博信	
第4回 ウイメンズヘルス	2/4 (火)	ZOOM	9:00 ~ 12:00	メンタルヘルスが気になる妊産婦との対話ポイントと 助産師ができる支援	国立精神・神経医療研究センター 認知行動療法センター リサーチフェロー 三田村 康衣	1/1 (水)
	2/10 (月)	ZOOM	9:00 ~ 12:00	健診、産後ケアで役立つ乳児の成長・発達の 観察ポイント	国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 新生児科医長 和田 友香	
	2/17 (月)	東京都 助産師会館	9:30 ~ 12:30	周産期におけるフィットセラピーの活用可能性	ソフィアフィットセラピーカレッジ 校長 池田 明子	
			13:30 ~ 16:30	産前産後の理学療法的な知識と実践	文京学院大学 保健医療技術学部 助教東 京北医療センター 理学療法士 布施 陽子	
	2/19 (水)	ZOOM	13:00 ~ 16:00	子育てに関わる大人の発達障害	社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 愛育病院 助産師 今井 晶子	
	2/22 (土)	ZOOM	9:00 ~ 12:00	無痛分娩における助産師の役割	公立大学法人 横浜市立大学付属病院 精神看護専門看護師 臨床准教授 渡邊 香織	

【いのちの教育委員会】

担当理事：清水幹子 委員長：板橋知子

委員：井出陽子 岩佐一恵 幸崎若奈 牧野好恵 土屋麻由美 若原彩香 塚本真弓 森下恵理子

委員会：6回開催

目標：

- ① 会員が包括的性教育における学びを深め、最新知識の習得、技術の向上を図る機会を提供する。
- ② 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」について会員への周知活動を行い、認定者の増員を図る。
- ③ 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」による充実した包括的性教育の実践、またその拡大をする。
- ④ 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」間の交流の充実を図る。
- ⑤ 性教育等の最新の情報を収集し、会員に情報提供する。

活動：

- ① 会員が包括的性教育における学びを深め、最新知識の習得、技術の向上を図る機会を提供する。

・研修会の開催（2回）・東京都委託助産師教育指導講習会（1回）

<アンケート結果より>

・主催研修会では、新しい知識・現状を学び、updateする必要性を感じた。性被害がトラウマにならないように被害者を救済する対応をしていくことと、性暴力が起こらない教育をしていくことを、あらためて確認した

・子どもに聴取をしすぎないこと、「誰に何をされたか」だけで十分だと言うことを自分も覚え、また周りの大人にも性教育の場などで伝えていきたいと思った。やはり「境界線と同意」と「からだの権利」を幼少期の性教育から積極的に伝えていきたい。

・委託講習会では、フェミニズムについて体系的に全体像を学ぶことができる貴重な機会だった。自身の日々の実践がフェミニズムだと気付かされた。最初に自分がイメージしたよりも問題となる文化的・政治的背景、教育不足などは幅広く大きなものだと感じた。一方で、それぞれの価値観が重視される今、全ての人に当てはまる正解はなく、互いが互いの立場や思いを尊重することが必要だと感じた。

<研修のオンデマンド配信について 今年度2回実施>

初回のため事務作業がはかどらず混乱したところもあった。オンデマンド作業依頼内容が不明瞭だった。今後の継続にはオンデマンド配信担当者を決め、その活動費を予算化することも必要。

- ② 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」について会員への周知活動を行い、認定者の増員を図る。
- ・総会での意見を取り入れ今年度より春・秋の年2回の新規の「生・性を語るエドゥケーター認定（以下エドゥケーターと省略）」の機会を設けた。

エドゥケーター申請希望者の認定審査（申請時期・認定時期について）

現在の1回から2回に変更

申請時期：4月、10月、認定時期：5月、11月、

認定書類発送：6月、12月

新規エドゥケーター認定者：春期9名・秋期3名

更新エドゥケーター認定者：9名があり、増員できた

・研修の増設に関しては早急には難しく、時間をかけていくこと、現状としては、他団体の開催する研修についてエドゥケーター認定研修として申請可能なものを紹介した。

・募集要項・エドゥケーターへのお知らせ

・エドゥケーター申請希望者への教育

性教育講演の見学や模擬授業のコーディネートや方法等の相談

来年度には新規エドゥケーターのための基礎講座の検討をしたい

- ③ 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」による充実した包括的性教育の実践、またその拡大をする。

・性教育講演のコーディネート

東京都助産師会への依頼について、エドゥケーターの派遣コーディネート

新規依頼数22件（依頼件数26件中）

※過去に依頼を受けていても、今までと依頼要件が異なるものを新規とした。

(2024年4月～2025年3月予定を含む)

公立学校のいのちの教育の推進のカリキュラム変更があり、徐々に新規依頼数の増加があった。また一部の区での新規プロジェクトに参入できた。

- ・未経験者または経験があっても近年実施がない場合にエドゥケーター希望者の模擬授業を行った。2件実施、授業の組み立てや講義内容への気づきがあり評価はよかった。
- ・レインボープライドパレード参加における準備調整・実施
棚木めぐみ氏とともに、4月後半に開催。主催者とのやり取りを把握、他団体とのコラボ企画参加者多数で、次年度に向けて継続的に協力する。

④ 「生・性（いのち）を語るエドゥケーター」間の交流の充実を図る。

- ・新規エドゥケーターのための説明会実施（春期1回）
交流会を今年度中に実施予定
- ・ラインの活用方法について

緊急事態の連絡、情報共有、つぶやきBOX（実践の困りごと、実践における質問回答に関する相談、お勧めの本や教材など）として試行してみる。誹謗中傷なし。

緊急事態の連絡があった時の対応についてある程度の枠組みがないと困る。お気軽質問箱のようにラインで投げかけられると回答が得られる場として活用できたらよい。長くやりとりが続く場合があるので、端的なやりとりをするなどルールを明示する。

⑤ 性教育等の最新の情報を収集し、会員に情報提供する。

- ・2023年度の性教育アンケート調査を急遽実施、要望として提出
- ・エドゥケーター（予定者・認定者）への支援
エドゥケーター見学システムについてHPのお知らせ欄に投稿・エドゥケーター認定者にはメール送信
*対象：エドゥケーターになりたい人&認定者（希望者）かつ東京都助産師会の会員であること
エドゥケーター認定者には後輩を育成する役割があり、講座の見学を提供する役割があると認識してもらいたい。見学システムの利用はなかったが、個人的に見学を受け入れているエドゥケーターはあり、見学の機会を提供する刺激にはなったと考える。

その他の活動内容

- ・委員会内の各活動のマニュアル作成：作成途中
- ・教材の見直し、更新については早急に対応する
- ・委員からの意見
実施報告の提出をエドゥケーター新規認定の要件としエドゥケーター認定の申請欄に加えた。
- ・料金設定の明文化

講師料（講師一人につき）

60分まで 2万円から（打ち合わせ、交通費込み）

60～90分 3万円から

最低金額は、講師料1万円（打ち合わせ・交通費は別）それ以下の場合は、お断りし来年度予算を検討して依頼してもらうように働きかけた。

ただし初回の依頼に限って、最低金額以上で引き受ける。また、その場合には次年度以降の依頼では、料金規定に沿った金額で依頼してもらう。最低金額は、講師料1万円（打ち合わせ・交通費は別）。その金額でも難しい場合には、お断りする。料金の明文化により、依頼校に説明がしやすくなった。公立学校によっては、講師料を出せないところがあり検討していただくことにしている。

【医療安全管理室】

室長：山本智美 委員：今井晶子 舘入祥子 五十嵐由美子 林田聖子 新田真弓
星野雄子（助産所部会） 板橋知子（保健指導部会）

【助産業務安全対策委員会】

担当理事：宗尚子

委員：新野由子 青柳三代子 大坪三保子 比嘉美貴 吉濱淳子 相沢澄子

室長：山本智美

顧問：五島丈裕

委員会：6回開催

目標：分娩異常報告の分析、インシデント、アクシデント報告に提出と共有

安全管理評価、自己評価に変更された。助産所部会だけでなく、保健指導部会も自己評価を行う。

評価：分娩異常報告は随時なされ、必要な注意喚起が助産所部会、保健指導部会を通じてなされた。

インシデント、アクシデントレポートの提出が非常に少ないためその必要性を、更に会員に知らせていく。

安全管理評価が自己評価に代わったが、他者評価が必要な場合もあることが議論された。また評価したことを示す証明書を出してほしいとの要望があり、方法につき次年度の課題とした。

【災害対策委員会】

担当理事：小山内泰代 委員長：名嘉真あけみ

委員：榎本裕子 熊谷典子 光武智美

委員会：6回開催

目標：①同じ医療圏の地区分会同士が自主的に交流できるようにする

②地区分会交流を通して災害時支援活動が具体化できるようにする

活動：委託講習会、地区分会交流会、安否確認訓練、地区分会 LINE を通じて災害対策に対する動機付けはできたが、地区分会同士が合同で災害対策に関するイベントや交流会を催すまでは到達できなかった。地区分会の中には少しずつ活動の具体化が進んでいる地区もあるが委員会の目標が達成できたといえるほどの進展はなかった。委員会としての地区分会への働きかけをさらに丁寧に行う必要がある。

①定例会6回

②東京都委託助産師教育講習会・・・対面形式

9/21 テーマ：育児クラスに生かす乳幼児防災 園田正世氏（参加者41名）

③日本助産師会災害対策連携集会・・・オンライン形式

10/12 参加23名

④安否確認訓練

【産後ケア推進特別委員会】

担当理事：大坪三保子 委員長：青山さやか（3月退任）

委員：佐々木美幸 一之瀬浩美 安田裕美子

委員会：2回開催

目標：開発した尺度、「産後ケアにおける助産師のケアの質を評価」の臨床への導入にむけた取り組み

産後ケアに関する研究への協力

東京都委託講習会の担当

活動：①尺度を産後ケア実施施設全てに導入にあたり以下の問題があり委員会メンバーのみでは導入のハードルは高い。

・産後ケア利用者へのアンケートは配布ではなく、各施設にフライヤーなどを配布し掲示、利用者自身にQRコードを読み取り回答を依頼するとば各施設の負担は増えないのではないか。利用者

へ紙でのQRコードもしくはアンケート用紙を配布となると（各施設でも利用者へのアンケートを実施していることもあり）スタッフの負担となる可能性もある。また、紙媒体の配布の場合、配布物の印刷、各施設への郵送など管理および費用が発生するためどこで管理するのかという問題がある。

・利用者に回答してもらったデータの管理方法。データ収集にあたり使用するサーバーをどうするのか。無料だと Google form などがあり、有料となると民間企業（例：楽天インサイト）などデータ収集および管理を依頼することが可能。しかしかなり高額なので無料でデータ収集・管理できる場所が必要。どこで、だれが、どのようにデータ管理をするのか。

・尺度導入する場合は倫理的配慮より、データの利用・閲覧は産後ケア委員会のメンバーおよび聖路加国際大学大学院（片岡教授および研究実施する学生のみ）に限定することが必須（収集したデータは研究当事者のみしか閲覧できないことが普通であるため）。

助産師のケアの質を評価する尺度の導入は産後ケア委員会では決められず、尺度作成元の聖路加国際大学大学院の片岡教授と相談していく必要がある。

以上より、導入に向けての問題点を明確としたため一部目標達成とする。

②本年度は聖路加国際大学より研究調査依頼がなかったため評価せず。来年度以降研究協力依頼があれば協力していく予定。

委託講習会は 2025 年 2 月に 2 回実施予定。

子育て女性健康支援センター

電話相談 毎週火・木曜日 10:00～16:00 相談件数 150 件

オンライン助産師相談

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで東京都委託事業として実施。相談件数 1,124 件

パパ向け伴走型支援～育休、取って良かった！～

2023 年 10 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで、東京都福祉保健財団の子供が輝く東京・応援助成金事業として実施。プレパパ講座を 17 の地区分会で 18 回開催、パパ向けデイケアを 13 の施設で 30 回開催した。また助産師検索サイト「助産師マップ」を 2024 年 4 月 1 日に新規オープンし 164 名の会員助産師（助産院）を掲載している。